



なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校
令和5年 10月20日
第 13 号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

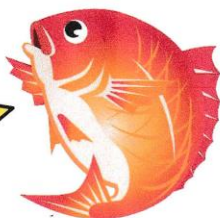
【校長賞】提出された冊数 184冊 1冊以上提出した児童数：78名 10月16日現在

全校朝会(10月)

夢と笑顔と「ありがとう」があふれる長幡小学校
～「3心」について～

○ 自分に負けるな

- 楽をштаイ ● 遊びタイ ● やめタイ
- 怠けタイ ● 苦しいことから逃げタイ
- 休みタイ ● ずるをしたい ● ごまかしタイ



自分の中のタイを小さくするには……

「ぬいだ靴をそろえる」「落ちているゴミを拾う」「身の回りの整理・整頓をする」

「背筋を伸ばす」「廊下を静かに歩く」などからやってみるとよいでしょう！

“自分のわがままな心にブレーキをかける！”

○ うそをつくな

- ・悪いことをしてしまったとき、間違ってしまったときは、素直に認めて、謝ることがとても大切です。【正直・誠実】

○ 弱い者をいじめるな

- ・いじめは、人間としてとても恥ずかしいことです。
- ・弱い者を助ける、力になってやる。【正義の味方】
- ・自分がされていやなことは、人にやってはいけません。



人と違うことを言ったりしたりすることから、いじめが生まれることもあります。「同調圧力」が日本人（日本の社会）は強いと言われています。一人一人持っている能力も違うし、性格も違う、考え方も違います。“みんな違って、みんないい”一人一人の違いをその人のよさとして認め合えるようになれば、いじめもなくなっていくのではと思います。“笑顔があふれる長幡小学校”を目指し、今後も子供たちと粘り強く関わっていきます。

10月の全校朝会では、「3心」について話をしました。

【自分に負けるな】

自分の中にいる鯛（タイ）※左図参照 を小さくすることが、自分に負けない力を育むことになるのではないかと考えています。そのためには、誰でもやろうと思えばできることを当たり前にやっていくこと。例えば、「脱いだ靴をそろえる」「落ちているゴミを拾う」「身の回りの整理・整頓をする」「背筋を伸ばす（姿勢）」「廊下を静かに歩く」など。自分のわがままな心にブレーキがかけられるようになってほしいものです。

【うそをつくな】

悪いことをしてしまった、間違ってしまった、誰にでもよくあることです。そんなときに、うそをついてごまかしたり、言い訳をしたりするのではなく、自分のしたことを素直に認めて謝ることができると思います。そして、相手が謝ったときには許し合える人間関係が培えることを願っています。

【弱い者をいじめるな】

6つのふれあい体験活動

「6つのふれあい」についても掲載しましたが、2学期は、いろいろな「6つのふれあい」を子供たちに味わわせることができそうです。



10月4日(水)、牧阿佐美バレエ団による『ドン・キホーテ』を鑑賞することができました。(文化庁学校巡回公演事業) 約70名の劇団員が早朝より本校を訪れ、素晴らしい踊り等を披露してくださいました。3・4年生数名が衣装に着替え、出演することができました。(右の写真)



10月5日(木)～6日(金) 1泊2日で6年生の修学旅行を実施することができました。2日間とも晴天に恵まれ、子供たちはたくさんの思い出をつくることができたのではないのでしょうか。「ホテルのスリッパをそろえる」「時間を守って行動する」「挨拶をする」「班でまとまって行動する」等がよくできていたように思います。(写真：鶴岡八幡宮 国会議事堂)

就学時健康診断

内科検診の様子

10月13日(金)、就学時健康診断を実施しました。来年度入学予定児童は、22名です。(10月13日現在)

話を聞いたり、静かに待ったりすることがしっかりできている子供たちが多かったです。心身ともに健康な状態で入学してくれることを職員一同、心待ちにしております。

<参考>令和7年度以降の入学予定児童数

R7: 24名 R8: 19名 R9: 17名 (R5.5.1 現在)



